

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	87	学校名	仙台市立馬場小学校	校長名	和泉 英司
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「身近にできる活動・地域と関わる環境学習」

～体験的な学びを重視した活動を通して～



2 取組の紹介

(1) 全校の取組

① ごみの分別回収

教室で出たごみは、「もえるごみ」と「プラごみ」に分けてごみ箱に入れます。掃除が終わると校内のごみを集める大きなポリバケツに分別して入れます。



② 地区清掃

復興プロジェクトの一環として、全校児童が2班に分かれ、学校周辺の清掃活動を行いました。清掃を行った道路沿いには、空き缶や、たばこの吸い殻等がたくさん落ちていて、子供たちは一生懸命拾い集めていました。活動中、学区内にある「秋保大滝」に向かう観光客と思われる車も多く通り、児童がゴミ拾いしている姿は、ゴミのポイ捨てを防ぐ啓発にもなっていると思いました。



(2) 学年の取組（1・2年：生活科、5・6年：総合的な学習の時間）

【1・2年生】 生活科「なつをたのしもう」で、学区内の二口溪谷に出掛け、その清流で活動しました。作ったおもちゃで水遊びをしたり、箱メガネで水中の生き物を探したり、平たい石を拾って水切りをしたりしました。ふるさとのかいれいな川での楽しい体験が、「この自然をずっと守りたい」という気持ちに変化することも願い、新たに開発した教材です。



【5年生】 秋保地区で生産されている、減農薬・減化学肥料による「秋保環境保全米」について調べ、生産に携わる方々の思いを体験を通して学びました。地域の水田での田植え体験と、校地内の水田での稲作学習を行いました。また、秋保温泉のホテルを訪問し、宿泊客に「秋保米」が提供されている場面を調べました。



【6年生】 あきう生産組合に御協力いただき、学童農園で「秋保在来種」のそばの種まき・刈取を行いました。7月に種をまき、10月に収穫しました。収穫したそばの実を製粉し、自分たちでそばを打って味わう一連の活動です。



3 取組の成果（児童生徒の変容・取組の効果）

- ・本校では、様々な活動を通じた「体験的な学び」を重視しています。これは、ふるさとに対する理解を深めるとともに、携わる人との出会いも含め、郷土愛の醸成につながっています。
- ・どの活動でも豊かな自然の恩恵と、その中で生活を営む人々の努力や工夫に触れることができ、関連する他の教科・領域でも、「環境保護」や「持続的なくらしや産業」などについて、これらの「体験的な学び」が自分の考えの土台や根拠となっていることが、発言や成果物等から伝わってきます。